Reference //

## 公開実用平成 3-121588

⑩日本国特許庁(JP)

@実用新業出願公開

ゆ 公開実用新案公報(リ)

平3-121588

Wint, Cl. 3

織別配号

庁内整理書号

●公開 平成3年(1991)12月12日

G II B

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全 頁)

❷考案の名称 光デイスク及び駆動モータの回転制御装置

順 平2-28068

職 平2(1990)3月19日

東京都大田区中馬込1丁目3番8号 株式会社リコー内 東京都大田区中馬込1丁目3番6号

#### 明細劇

1. 考案の名称

光ディスク及び駆動モータの回転制御装置

- 2. 実用新案登録請求の範囲
- (1) 光ディスクの外周縁部に等間隔且つ同心円状 に回転速度検出用のマーカーを形成したことを特 徴とする光ディスク。
- (2) 駆動モータの回転輪によって中心孔を回転自在に支持された前記光ディスク上の前記マーカーの移動軌跡に沿って光検出装置を配置し、この光検出装置によって検出された単位時間当たりのマーカーの通過数に基づいて前記駆動モータの回転制御装置。
  - 3. 考案の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本考案は光ディスク及び駆動モータの回転制御 装置に関する。

(従来の技術)

近年、各種データ又はオーディオ・ビジュアル

1



1217 実開3-121588

(AV) 信号を記録する媒体として、コンパクトな形状でありながらも大容量の情報を記録し得る光ディスクが一般化しており、光ディスクに記録された情報を光ピックアップにより再生したり、ユーザーが任意に情報を書き込んで使用することも可能な光情報記録再生装置が広く開発されている。

これらの光情報記録再生装置に用いられる光ディスクのドライブ装置には、幾多の高度な技術が駆使されているが、特に光ディスク面上にデータを記録、再生するためには、ディスクの回転速度の制御技術は重要な要素である。

ところで、光ディスクの制御方法としては、角 速度 (回転数)を一定に制御する方法と、線速度 ピックアップの内外径方向位置に応じて変化させ る方法 (CLV) が採用されている。

例えば、線速度を制御する方法にあっては、線速度は1.25m/s程度に設定されており、この線速度は一定であるため、CDにおいては光ディスクの最内間にピックアップが位置していると



2

きの回転数を例えば1分間に約600回転とすると、最外間に位置するときには約200回転程度に設定される。

線速度を一定にするための制御方法においては、線速度を一定にするための速度情報がディスク上の所定部に予め記載されておりこの情報は回転数を一定以上のレベルに高めてから初めて読取可能となるため、予め回転数を一定以上に高めた上で、読み取った速度情報に基づいて線速度を一定に切替制御している。

このような操作を行なうために従来はディスクモータの制御回路中に周波数発振器(Frequency Generator)を挿入しておき、この周波数発振器の出力を利用して制御を行なっていた。

このような周波数発振器を挿入した回転数制御回路は、前記角速度を一定に制御する方法において使用されるものであり、何れの方式においても周波数発振器の使用は回路の複雑化を招くため、この点の改善が望まれていた。

(考案の目的)



本考案は上記に鑑みてなされたものであり、回 路構成の複雑化を招く周波数発振器を付加することなく、角速度を一定に制御することができる光 ディスク及び回転制御装置を提供することを目的 としている。

#### (考案の構成)

上記目的を達成するため本考案は、光ディスクの外周縁部に等間隔且つ同心円状に回転速度検出 用のマーカーを形成したことを特徴としている。

また、本考案は駆動モータの回転軸によって中心孔を回転自在に支持された前記光ディスク上の前記マーカーの移動軌跡に沿って挽出装置を配置し、この光検出装置によって検出された単位時間当たりのマーカーの通過数に基づいて前記駆動モータの回転速度を制御したことを特徴としている。

以下、添付図面に示した好適な実施例に基づいて本考案を詳細に説明する。

第1図(a)(b)及び(c)は本考案に使用する光 ディスクの一例を示す平面図、A-A断面図及び

4



B - B断面図であり、この光ディスク1の最外周 緑部には周方向に沿って等間隔且つ同心円状に回 転数検出用のマーカー2が形成されている。この マーカー2としては、後述する検出手段からの検 出光を反射する溝、検出光を通過させる貫通孔或 は反射率を変化させる反射膜等を用いる。

第2図は上記光ディスクの回転速度を一定に制御するための装置の回路機成を示す概略図であり、ディスクモータ 5 の出力軸によって行って行っていた光ディスクーの下方には矢印方のでは矢ができた光ディスクーの下方には矢印方のでは矢ができた光ディスクーの下方には矢印ができた光ディスクーの下方には矢印ができたができたが、光検出装置がらの信号を増加すると、増幅器のの信号を一分の回転数を制御するとを有する。

光検出装置でとしては、反射型センサを用い、 該センサを構成する発光素子からの反射光をマーカーで反射させて受光素子にて受光したり、或は

5



透過させることによって反射光の有無を検出した りする。

即ち、光ディスク1の回転数は単位時間当りのマーカー2の通過数(回転数に比例)として光検出され、この検出信号とルバスによって検出され、この検出信号とルバルス信号に入力される。比較器9に入力されたパルス信号は基準パルス信号と比較器であり、この基準パルス信号は、光ディスクの基準である。この基準パルス信号は、光ディスクの基準である。でもの情報であり、このが制御をしたが一致するようにモータ5が制御される。

なお、増幅器の代りに被形成形回路を挿入して もよい。

なお、上記回路構成は一例に過ぎず、例えば単位時間当りのパルスを積分して得られたアナログ 的な電圧値に基づいて制御してもよい。

更に、マイコン等の制御手段に回転数に関する データを入力し、このデータに基づいてモータを 制御するようにしても良い。

なお、ディスクのを圧縮成形によって製造する



6

場合にはスタンパに上記マーカーに相当する突部を付加すればよく、また蒸着による場合にはマスクにマーカーに相当する加工を施せば良く、コストアップを招来する虞れはない。

### (考案の効果)

以上のように本考案によれば、光ディスク側に回転制御用のマーカーを設けるとともに、このマーカーを読み取る検出手段をドライブ装置側に設けるため、回路構成を複雑高価にする周波数を検出することなく、回転数を検出することなができる。従って、本考案の回転速度検知機構は線速度を検出する前段階として必要とされる回転速度の検知においても利用可能である。

#### 4. 図面の簡単な説明

第1図(a) (b) 及び(c) は本考案に使用する光 ディスクの一例を示す平面図、A~A断面図及び B-B断面図、第2図は上記光ディスクの回転速 度を一定に制御するための装置の回路構成を示す 機略図である。

1・・・光ディスク 2・・・マーカー



- エレックアップ 7・・・光検出 装垣

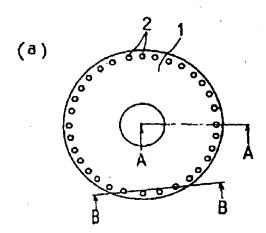
a...增幅器 9···比較需

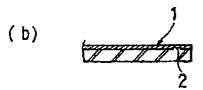
実用新案登録出顧人 株式会社 リコー

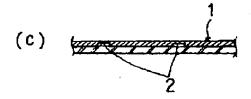
8



### 第1図

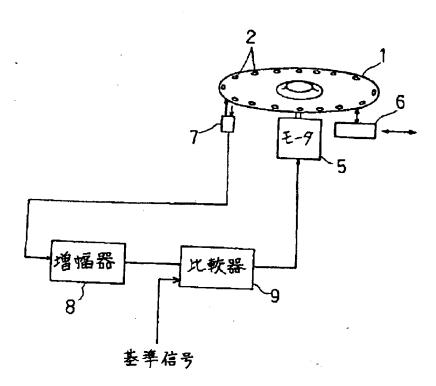






実用所案登録出類人 株式会社リニー実開3-121588

### 第2図



実用新案登録出願人 株式会社リコー

実開3-121588

## This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

### **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

BLACK BORDERS
IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
FADED TEXT OR DRAWING
BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
SKEWED/SLANTED IMAGES
COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
П отигр.

### IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.